

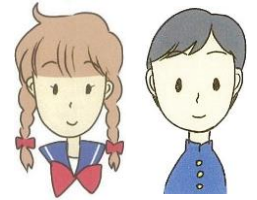
福祉教育プログラム

青葉区社会福祉協議会が福祉教育の実施をお手伝いします!



地域の方々との交流

地域の方々との交流は、自分たちが住んでいる地域の特徴・地域の活動を知り、小中学生の皆さんが、地域の一員(生活者)として自分のできることを考える福祉教育です。



地域の防災

避難所運営ゲーム(HUG)などを通して、災害時援護が必要な方の手助けや、防災時の助け合いを考えます。

避難所運営ゲームとは、避難所に次々にやってくる避難者の状況や要望を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を学ぶゲーム様式の教材。

地域の歴史

地域の歴史や特徴を地域住民の方々に話していただき、自分たちの住んでいる地域の理解を深めます。

ボランティアと交流

地域のボランティアと一緒に活動の共有や体験を行い、ボランティアデビューのきっかけ、地域の方々とのつながりづくりの場にします。

当事者との交流・当事者理解

障がいがある方からのお話、当事者との活動などの福祉教育の実施にあたって、講師の紹介などをボランティアセンターで行っています。

当事者理解の疑似体験などにあたって、車いすや点字、もみじ箱(疑似体験セット)、ユニバーサルデザインのグッズなどの貸出も行っています。



視覚障がい者のメンバーがいる音楽グループの演奏と講義



聴覚障がいがある方を講師に手話教室

福祉機材の貸出

- 車いす(自走式・介助用)
- スロープ
- もみじ箱(疑似体験セット)
- アイマスク・白杖
- ユニバーサルデザイングッズ
- 点字盤 など



認知症サポーター養成講座



認知症の方とその家族の応援者である「認知症サポーター」の養成講座です。認知症についての知識、寸劇を通して認知症の方の気持ちや接し方を学びます。

小中学生の皆さんが認知症サポーターになることで、認知症の理解が広まり、認知症の方が安心して暮らせる地域につながるの心強いです。

地域のボランティア、地域ケアプラザ、福祉施設、区社協などと一緒に講座を実施します。



受講後サポーターの証「オレンジリング」をお渡しします。

お問合せ・ご相談: 横浜市青葉区社会福祉協議会 ボランティアセンター
☎045-972-7018 FAX:045-972-7519